

2014 年度 小委員会活動成果報告

(2015 年 2 月 12 日作成)

小委員会名	建築設計計画評価小委員会		主 査 名：加茂紀和子 就任年月：2012 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築計画委員会 (建築設計計画運営委員会)		委員長名：菊池成朋 主 査 名：岸本達也
設 置 期 間	2014 年 4 月 ～ 2016 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現代建築作品を通して有効な設計方法論を求め、新しい計画学の枠組みを構築する ・ 現代建築作品・プロジェクトを建築計画学から評価する可能性を探るため、様々なクライアント (評価軸・評価基準) と評価方法を検討し、試行する ・ 		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無		
	加茂紀和子 (主査、みかんぐみ) 脇坂圭一 (幹事、名古屋大学)、泉幸甫 (泉幸甫建築研究所)、宇野求 (東京理科大学)、岸本達也 (慶応大学)、木多彩子 (摂南大学)、黒崎敏 (株式会社 APOLO)、佐藤慎也 (日本大学)、鈴木雅之 (千葉大学)、高橋浩伸 (有限会社木鶏建築研究所)、西村伸也 (新潟大学)、服部岑生 (NPO 千葉地域再生リサーチ)、細野透 (建築&住宅ジャーナリスト)		
設置 WG (WG 名：目的)			
2014 年度予算	135,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回 (2014 年、5 月 12 月 2015 年 2,3 月 実施)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 仮称「建築家の自邸」の出版に向けて、WEB 出版の意義、方法も含め検討した。来年度の実施に向けて準備をおこなった 2. それぞれの自邸の設計計画評価について、委員内で討議した。 3. 来年度開催予定のシンポジウムについてテーマおよび運営について協議した
委員会活動の問題点 ・課題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 本年度は出版準備という委員各自の作業、執筆の精査、調整という時間となり、全体でのまとめ、協議の時間が少なかった 2. 委員会の研究方向を討議し、これまでの成果を表現し、当小委員会の目的としてのこれからの計画学の可能性を問う場(シンポジウム)を積極的に設ける必要がある。

* 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。

* 表中の「(書名)」等の赤文字は、記述を誘導するための説明である。記載の有無にかかわらず最終的には削除のうえ提出すること。